

みんなで広げる緑の力

緑を育てる楽しさを通じた仲間づくりなど、緑には地域をつなぐ力があります。緑を活かした暮らしの場が増えれば、地域に緑を介したコミュニケーションが広がります。緑の担い手となる「人づくり」を通して、まち全体に緑をひろげていく取り組みをご紹介します。

楽しみながら、緑を守り、育てる

「里山ボランティア活動」(千葉県松戸市)



人の生活と密着していて身近にあった「里山」。しかし、山林所有者の高齢化による影響などで、樹林の管理ができず、「里山」が荒れている例はめずらしくありません。松戸市で実施されている「里やまボランティア入門講座」は、減少が問題になっている里山樹林地の維持管理に取り組む「緑の担い手」を育てることにより、貴重な緑地環境の保全・育成の推進を目的として開設されました。



講座風景



杉の倒木作業

受講をきっかけに、修了生が活動団体を設立するなど、約8割の修了生が実際に市内の里山で保全活動の取り組みを開始しています。第2期修了生が中心になり結成された、「囲いやま森の会」では、約2haの樹林地で、清掃や下草刈り、生態調査などの里山保全活動をしています。また、「親子で楽しむ森の楽校」・「森の音楽会(オカリナ・コカリナ演奏)」などを開催し、市民と一緒に楽しみながら、緑を守り、育てています。更に、各活動団体は「連絡会」を組織し、情報交換、互いのフィールドへの参加、技術向上勉強会、一般の市民への参加推進に取り組むとともに、既存の市民活動グループと連携して、市民による緑のまちづくりの推進主体となっています。

森の音楽会



森の楽校

